

名古屋市 食の安全・安心フォーラム

コープあいち報告

令和5年11月25日

生活協同組合コープあいち
参与 平光 佐知子

コープあいちの事業

宅配事業



毎週約20万人の組合員
にカタログを配布、配達

店舗事業



愛知県内16店舗展開

福祉事業



訪問介護・居宅介護を
中心に展開

共済事業

夕食宅配
モーニングコープ
買物支援
住まい 葬祭

<2022年度事業概況>

事業高	:	642億6千万円
組合員数	:	54万5623人
出資金	:	97億6千万円

組合員から出される意見（輸入食品）

牛肉のホルモン剤
に対する不安

外国の肉や野菜の
使用に対する不安

鮭やサーモンの養
殖時に使用される
薬品に対する不安

（一部の組合員に根強く残る）
中国製品に対する不信感

輸入食品への考え方①

日本の食料自給率は低く、最近では世界の食糧事情はさらに厳しいものとなっており、原料を特定の国に限定する(または、特定の国を避ける)ことは困難。

日本の食料自給率

38%

(カロリーベース)

食品の安全性については、国内に流通するものは、どの国で作られたものであれ、日本の食品衛生法の管理の下で流通することになり、国産のものに比べても安全性で劣ることはない。

生協で取り扱うものは、日本の商社などが現地を指導し日本向けに作られたもの

国内では調達できない農産物、輸入品でしか手配できない季節など、輸入食品に頼らざるを得ないのが現状。



輸入食品への考え方②

生鮮品・加工品ともに、国内の食品を扱うことは国内の生産者・メーカーを守る上で重要かつ優先課題。



一方でそれにこだわった場合、すべての人が安全で栄養バランスの整ったおいしい食品を手に入れることは不可能。輸入食品については、排除するほど食の安全上のリスクがあるわけでもありません。



国内の農産物をしっかり取り扱うことで生産者を守りつつ、輸入食品を上手に取り扱うことで組合員のくらしを守ることも必要と考えています。

組合員への案内方法①

カタログ及びWebサイトでの輸入食品の考え方を案内

輸入食品は怖い？

食料自給率が低いから、輸入に頼るのはしょうがないのかな？
でも輸入食品は何か危険そう。
週刊誌にも「危ない食品」という記事があったわ！
輸入食品の検査って1割くらいしかされてないって聞いたけど大丈夫？



検査だけで安全を確認しようとする、全品検査しないといけないでしょう？
食品の安全を守る為には、検査以外の取り組みも重要なんです。
輸入食品の安全性は次のように確認しています。



輸入時対策

- ・輸入前の事前相談・指導があります。輸入食品監視指導計画に基づいて、国がモニタリング検査を実施します。輸出国の情報により、違反の可能性が高い食品等は、輸入者に検査実施を命じます(検査命令)。
- ・違反の可能性の高い特定の国、食品は一律に輸入禁止する包括的輸入禁止措置がとられます。また違反を繰り返す輸入者は、営業禁止又は停止の処分があります。

輸出国対策

- ・食品によっては、輸入の際に衛生証明書の添付が必要なものがあります。違反の可能性が高いものについて、二国間協議で原因究明、対策を要請します。輸出が多い国、違反事例が多い国の情報収集、現地調査を実施します。
- ・輸出国への日本の食品衛生管理規制・監視指導の情報提供、検査技術の向上などの技術協力を行っています。

国内で流通しているものは

国内で流通している食品は、輸入品も国産品も同じ基準が適用され安全性は同じです。また基準は「超過したら危険」というものではなく、管理するための目安として設定されています。

例えば、令和3年度で中国から輸入された食品については、約89万件の輸入届出件数に対して194件の食品衛生法違反があり、違反率は0.02%でした(全輸出国での違反率は0.03%なので中国が高いわけではありません)。これは輸入食品が危険ということではなく、危険なものが流通しないようにチェックされているという事です。

参考：厚生労働省
「輸入食品監視業務FAQ」



東海コープ
ホームページに
「おいしくって、
安全なおはなし」の
バックナンバーが
あります。



2023年
6月4週
(26号)

東海コープからの
おいしくって、
安全なおはなし



組合員への案内方法②



Webサイトを活用し、商品の原材料や産地を開示し、購入の際の情報を提供しています。



主な原材料の産地

メーカーの仕様書提出時の情報を表示していますが、やむを得ない事情により原料の調達先や産地の変更をする場合があります。

[原材料の産地について](#)

鶏肉	日本等	豚肉	アメリカ、カナダ、日本等
たまねぎ	日本、アメリカ、中国等	小麦粉（小麦）	アメリカ等
おろししょうが	日本、中国等		

ご清聴ありがとうございました。



© やなせたかし